

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
<b>1 心身ともに充実し、自ら学び、考え、行動するひと</b>					
1	拡大	当初	<p>事業名：障害福祉センター運営費（診療所費）                      事業費：100,746千円                      人員増に伴う人件費の増 27,121千円（※）                      ※予算計上額は、委託料10,047千円（人件費増額から診療報酬増額を差し引いた金額）</p> <p>事業概要：                      障害福祉センター診療所において、発達障害児等の診療数が増加しているため、医師、臨床心理士、看護師をそれぞれ1名ずつ増員し、受入れ体制の充実を図り、待機期間解消を目指す。</p> <p>財源：一般財源（但し、巡回相談に係る人件費【国庫】1/2以内 【県補助】1/4以内）</p>	100,746	障害福祉課
2	拡大	当初	<p>事業名：子育て世代包括支援センター運営費                      事業費：R4 3,667千円                      （通常分 母子健康手帳交付費等より移管 2,076千円 拡大分 1,591千円）</p> <p>事業概要：                      専門職（保健師等）が子育て家庭の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、必要な支援へとつなぐ子育て世代包括支援センター（現在、こども健康課及び各総合事務所地域福祉課を位置付けて実施）の運営を行うもの。</p> <p>拡大内容：                      新庁舎移転に伴い、子育て関連機能がワンフロア（2階）に集約することから、子育て世代包括支援センターの機能の強化を図ることにより、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援と誰一人見逃さないための体制づくりを行う。                      具体的には、母子保健と子育て支援を一体的に取り組み、あらゆる相談に対応するとともに必要な支援へとつなぐ。                      ①子育てワンストップ窓口を設置し、あらゆる相談への対応や必要な支援の提供（R4.4.1～こども総合相談を統合。）                      ②母子健康手帳交付時の専門職（保健師等）による妊婦全数面接の実施（R5.1.1～）                      ③支援プランに基づく支援状況の進行管理                      ④子育て全般に係る支援メニューの情報集約・市民への提供及び切れ目のない支援のための子育て関係団体等との連携強化</p> <p>R4事業内容                      ・母子健康手帳交付時の妊婦全数面接にかかる人件費 1,283千円                      （会計年度任用職員（保健師等）の報酬等）                      ・保健師活動費、周知に係る費用 308千円                      （船車券購入費、コピー用紙等）                      ・その他事務費 2,076千円                      （母子健康手帳購入費、相談カード印刷製本費等）</p> <p>財源：（国費・県費）子ども・子育て支援交付金（国2/3・県1/6）※一部の経費を除く。</p>	3,667	こども健康課 中央総合事務所 地域福祉課 東総合事務所 地域福祉課
3	新規	当初	<p>事業名：【単独】公園施設整備事業費 長崎東公園                      事業費：R4 36,800千円（新規）</p> <p>事業概要：                      東部地区の子育て環境の充実を図るため、東公園コミュニティ体育館の一室をリニューアルし、身近な場所まで気軽に行ける子どもの遊び場を整備する。令和4年度にユニバーサルデザインに更新する屋外遊具と一体となった利用が可能になるようにする。</p> <p>R4事業内容：                      ・屋内工事費（出入口新設、ウッドデッキ新設等） 18,838千円                      ・備品購入費（屋内遊具、設置型ベビーケアルーム（授乳室）等） 17,962千円</p> <p>財源：地域活性化事業債 90%</p>	36,800	東総合事務所 地域福祉課
4	新規	当初	<p>事業名：【補助】児童福祉等施設整備事業費 子育て支援センター（江平・山里区域）                      事業費：R4 65,000千円</p> <p>事業概要：                      子育て支援センター未設置区域である「江平・山里区域」に子育て支援センターを新設するため、整備工事を行うもの。</p> <p>R4事業内容                      ・子育て支援センターを江平・山里区域に整備するための新設工事                      設置場所：里中野郷会館跡（天主公園横）                      構造・延床面積：鉄骨造平家建 約100㎡</p> <p>財源：（国費）次世代育成支援対策施設整備交付金（1/2 ※上限 8,696千円）                      （地方債）社会福祉施設整備事業費（80%）                      （その他）こども基金</p>	65,000	子育て支援課

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
5	新規	当初	<p>事業名：【補助】児童福祉等施設整備事業費 子育て支援センター（淵・緑が丘区域） 事業費：R4 22,000千円</p> <p>事業概要： 淵・緑が丘区域にある緑が丘地区子育て支援センター「ピクニック」は、旧図書センターの建物内に設置しているが、老朽化が進んでおり、新たな場所に移転する必要があるため、長崎市公共施設マネジメント計画において、区域内で機能を確保することとしていることから、市の既存施設を活用し、地域の意向も確認したうえで、利便性のよい場所である「ブリックホール1階の旧レストラン」に移転するもの。</p> <p>R4事業内容： ・子育て支援センターとして活用するための改修工事（床をクッションフロア化、授乳室、沐浴室の設置など） ・移転場所 ブリックホール1階の旧レストラン（224.96㎡）</p> <p>財源：（国費）次世代育成支援対策施設整備交付金（1/2 ※上限 8,696千円） （地方債）社会福祉施設整備事業費（80%） （その他）こども基金</p>	22,000	子育て支援課
6	新規	当初	<p>事業名：【単独】児童福祉等施設整備事業費 子育て支援センター（丸尾・西泊・福田区域） 事業費：R4 8,700千円</p> <p>事業概要： 子育て支援センター未設置区域である「丸尾・西泊・福田区域」に子育て支援センターを新設するため、建設に係る実施設計及び建設場所の土質調査を行うもの。 ・設置予定場所 みなと坂2丁目市有地（敷地面積：616.69㎡）</p> <p>R4事業内容： ・実施設計業務委託 4,500千円 ・土質調査業務委託 4,200千円</p> <p>財源：（その他）こども基金</p>	8,700	子育て支援課
7	拡大	当初	<p>事業名：子育て支援センター運営費 事業費：R3：77,558千円 ⇒ R4：85,644千円（うち、拡大分3,438千円）</p> <p>事業概要： 在宅で育児をしている親の孤独感や不安感の軽減を図ることを目的とし、子育てに関する相談や情報提供、交流や仲間づくりができる場として設置している子育て支援センターの運営を行う。 江平・山里区域開設後箇所数：17か所 一般型：15区域・16か所、発達障害支援特化型：1か所</p> <p>拡大内容： ①江平・山里区域のセンターを開設（R5.3月予定）する（2,272千円）。 ②江平・山里区域のセンターにおいて、オンラインを活用した相談支援に必要なICT機器の導入等の環境整備及び研修のオンライン化に係る費用を補助する（500千円）。 ③発達障害支援特化型のセンターにおいて、相談等に対応するスタッフの充実を図るため、常勤1名を増員（約2.5名⇒3.5名）し、補助額を増額する（666千円）。</p> <p>財源：（国費・県費）子ども・子育て支援交付金（1/3）※発達障害支援特化型は市単独 （国費）新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（10/10）</p>	85,644	子育て支援課
8	継続	当初	<p>事業名：子ども食堂開設応援費 事業費：R3：270千円 ⇒ R4：180千円</p> <p>事業概要： 地域で子ども食堂の開設を検討している者を応援するため、その運営を熟知した者を派遣し、相談に応じ、助言、情報提供等を行うことにより、開設を支援する。</p> <p>事業内容：子ども食堂の開設を検討している個人・団体に対し、アドバイザーが子ども食堂の開設に係る助言・情報提供を行う。（相談見込件数：6件） ※R3 相談件数：5件、新規開設数：3か所、R4.1末時点：17か所</p> <p>財源：（国費）地域子供の未来応援交付金（国1/2） （その他）こども基金</p>	180	子育て支援課

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
9	継続	当初	<p>事業名：①【補助】児童福祉等施設整備事業費 全天候型子ども遊戯施設 ②全天候型子ども遊戯施設開設準備費 事業費：①R3（R2繰越）：552,000千円 ⇒ R4：397,100千円 ②R4：25,966千円</p> <p>事業概要： あぐりの丘に子どもが遊びながら成長できる全天候型の子ども遊戯施設を整備するもの。 また、10月28日の施設開設に向けて備品の購入や周知を図るための広報に係る経費等を計上するもの。</p> <p>R4事業内容： ①施設整備事業費（大型遊具含む）397,100千円 新築主体工事、電気工事、管工事及び、自動券売機システムの購入に係る経費。 ②開設準備費：25,966千円 備品、消耗品、広告料、愛称公募に係る記念品、給水スポット設置負担金等に係る経費。</p> <p>財源：①（国費）地方創生拠点整備交付金（国1/2） （地方債）合併特例債（95%） （その他）企業版ふるさと納税寄附金、こども基金 ②（その他）こども基金（一部）</p> <p>総事業費：1,267,454千円 事業期間：R1～R4 R1 基本計画 9,735千円 R2 実施設計・既存建物解体工事 121,553千円（51,251千円の繰越を含む） R3 新築工事（大型遊具含む） R2補正（R3）：552,000千円 スロープ等改修工事、既存施設改修・外構工事 161,100千円（繰越明許費：130,600千円） R4 新築工事（大型遊具含む）378,987千円、自動券売機システム購入18,113千円 開設準備費：25,966千円</p>	423,066	子育て支援課
10	拡大	当初	<p>事業名：子育て応援情報発信費 事業費：R3：1,416千円 ⇒ R4：1,998千円（うち、拡大分：528千円）</p> <p>事業概要： 子育て家庭が必要とする情報について、子育て応援情報サイト「イーカオ」（ホームページ）及び「子育てガイドブック」（冊子）により、情報発信を行う。</p> <p>拡大内容： ①いつも「イーカオ」をチェックしている利用者の視点から「イーカオ」に対する率直な意見を聴き、情報をわかりやすく周知するための改善を図る「パパママモニター」を実施する。 実施方法：モニター（30名）を募集し、モニターから発信情報に対して随時意見を聴けるようにするとともに、一同に集まって意見を聴く検証会（モニターそれぞれがパソコンやスマートフォンをその場で操作しながら、イーカオの操作性、掲載されている情報、今後掲載すべき情報等についての意見を聴取）を行い、「イーカオ」について、全体的に見直しを検討する。（30千円） ②新庁舎2階のイーカオプラザに親しみやすく楽しい雰囲気になるように、壁にイーカオのキャラクターを表示する（220千円）。 ③情報発信のためのキャラクターシールを配布する。（278千円）</p> <p>財源：（その他）こども基金（一部）</p>	1,998	子育て支援課
11	継続	当初	<p>事業名：子どもの貧困対策推進計画策定費 事業費：R3：3,000千円 ⇒ R4：998千円</p> <p>事業概要： 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が令和元年9月に改正され、市町村が子どもの貧困対策についての計画を定めることが努力義務となっており、本市においても子どもの貧困対策を総合的に推進するための計画を策定するもの。 計画は、国の「子供の貧困対策に関する大綱（令和元年11月）」や「長崎県子どもの貧困対策推進計画（令和2年10月策定）」等の動向を踏まえて策定することとなっている。</p> <p>R3実施内容： 子ども及び保護者の現状を把握し、支援を必要とする子どもやその家庭に必要な施策を検討する基礎資料とするため、小学5年生、中学2年生及びその保護者を対象に、生活実態等を把握するための調査を実施。</p> <p>R4事業内容： 令和3年度に実施した生活実態等の調査結果を踏まえた推進計画を策定。</p> <p>財源：（その他）こども基金</p>	998	子育て支援課

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
12	拡大	当初	<p>事業名：民間保育所等新型コロナウイルス感染症対策費（子育て支援センター）                      事業費：R3：4,829千円 ⇒ R4：12,415千円（うち、拡大分7,586千円）</p> <p>事業概要：                      子育て支援センターの運営団体に対し、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品等の購入費用と、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費を補助する。（新設の江平・山里区域を含む17か所分）                      拡大分：感染症対策のための改修（トイレ、非接触型の蛇口の設置等）にかかる費用を補助する。</p> <p>財源：（国費・県費）子ども・子育て支援交付金（国1/3、県1/3）※一部の経費を除く。                      （国費）新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（10/10）</p>	12,415	子育て支援課
13	拡大	当初	<p>事業名：放課後児童健全育成事業                      事業費：R3 1,596,666千円 ⇒ R4 1,646,649千円（うち、拡大分：29,152千円）</p> <p>事業概要：                      保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対して、放課後等の適切な遊びや生活の場を提供し健全な育成を図る。</p> <p>R4事業内容（拡大分）：                      ・放課後児童クラブの事業者への運営費補助の単価増額による支援の充実（単価改正による増額分：29,152千円）</p> <p>財源：（国費・県費）子ども・子育て支援交付金放課後児童健全育成事業（国1/3、県1/3）                      （国費）子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費国庫補助金（国1/2）</p>	1,646,649	こどもみらい課
14	新規	当初	<p>事業名：【補助】児童福祉等施設整備事業費補助金 放課後児童クラブ                      事業費：R4 45,376千円</p> <p>事業概要：                      児童数増加による既存施設の狭あい化解消のため、放課後児童クラブの施設整備に係る経費を補助する。</p> <p>R4事業内容：                      ・鳴見台小学校区の放課後児童クラブ施設整備（増設）への補助                      設置場所：鳴見台小学校内敷地                      構造・延床面積：鉄骨造平家建 約184㎡</p> <p>財源：（国費・県費）子ども・子育て支援整備交付金（国1/2、県1/8）                      （地方債）社会福祉施設整備事業費（80%）                      （その他）こども基金</p>	45,376	こどもみらい課
15	拡大	当初	<p>事業名：放課後子ども教室推進費                      事業費：R3 12,350千円 ⇒ R4 14,132千円（うち、拡大分：954千円）</p> <p>事業概要：                      放課後又は週末等に地域と学校が連携・協力して、学習や様々な体験・交流活動の機会を提供し、全ての子どもたちの安全・安心な活動場所づくりを推進する。</p> <p>R4事業内容（拡大分）：                      ・放課後子ども教室実施地域の拡大（委託拡大分：954千円）※全小学校数67校で実施                      R3：60小学校区（委託：40校区、自主：20校区） ⇒ R4：67小学校区（委託：45校区、自主：22校区）</p> <p>財源：（国費）学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金（国1/3）</p>	14,132	こどもみらい課
16	拡大	当初	<p>事業名：市立保育所費 運営費                      市立認定こども園費 運営費                      全体事業費：                      （市立保育所費 運営費）                      R3 314,222千円 ⇒ R4 302,191千円                      （通常分 298,723千円 拡大分 3,468千円）                      （市立認定こども園費 運営費）                      R3 46,031千円 ⇒ R4 45,849千円                      （通常分 43,669千円 拡大分 2,180千円）</p> <p>事業概要：市立保育所（5施設）及び市立認定こども園（1施設）を運営するもの。</p> <p>拡大内容：                      より安全安心な給食の提供及び食育の推進を図るため、市立保育所及び市立認定こども園において、3歳以上児に主食の提供を実施するもの。                      ・委託料（調理業務委託）の増 2,772千円（歳出）                      ・主食提供に係る賄材料費の増 2,876千円（歳出）                      ・保護者から徴収する主食費（給食負担金）の増 2,851千円（歳入）</p> <p>財源：（その他）給食負担金</p>	348,040	幼児課

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
17	拡大	当初	<p>事業名：病児・病後児保育費                      事業費：R3 77,871千円 ⇒ R4 95,215千円（うち、拡大分 12,690千円）</p> <p>事業概要：                      安心して子育てができる環境を整備するため、病気の回復期又は回復期に至らない児童の一時的な保育を医療機関等に委託するもの。</p> <p>拡大内容：                      各病児保育施設から利用者や地域の保育所等に対して、感染症流行情報及びその予防策や新型コロナウイルス感染症の衛生対策等の情報発信を行うもの。（1施設あたりの単価2,538千円×5施設=12,690千円）</p> <p>実施予定施設：5施設</p> <p>財源：（国費・県費）子ども・子育て支援交付金（国1/3、県1/3）</p>	95,215	幼児課
18	拡大	当初	<p>事業名：民間保育所等新型コロナウイルス感染症対策費（民間保育所、認定こども園、小規模保育事業所、病児病後児保育施設、認可外保育施設）                      事業費：R3 82,481千円 ⇒ R4 172,446千円（うち、拡大分80,004千円）</p> <p>事業概要：                      新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、病児保育施設において、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品等を購入するとともに、民間保育所等に対して、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品等の購入費用を補助する。                      併せて、病児保育施設において、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくとともに、民間保育所等に対して、同様に事業を継続的に実施していくために必要な経費を補助する。                      拡大分：感染症対策のための改修（トイレ、非接触型の蛇口の設置等）にかかる費用を補助する。</p> <p>財源：（国費）保育対策総合支援事業費補助金（1/2）、（1/3）※拡大分                      （国費・県費）子ども・子育て支援交付金（1/3）                      （国費）新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（10/10）</p>	172,446	幼児課
19	拡大	当初	<p>事業名：民間保育所等新型コロナウイルス感染症対策費（放課後児童クラブ）                      事業費：R3 58,950千円 ⇒ R4 87,052千円（うち、拡大分41,500千円）</p> <p>事業概要：                      放課後児童クラブの運営団体に対し、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品等の購入費用と、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費を補助する。                      拡大分：感染症対策のための改修（トイレ、非接触型の蛇口の設置等）にかかる費用を補助する。</p> <p>財源：（国費・県費）子ども・子育て支援交付金（国1/3、県1/3）                      （国費）新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（10/10）</p>	87,052	こども みらい課
20	新規	1月 補正	<p>事業名：新型コロナウイルス感染症対策費（小・中・高）                      事業費：R4 115,200千円（新規）</p> <p>事業概要：                      新型コロナウイルス感染症への対応として、感染症及びその拡大リスクをできる限り低減させながら、教育活動を継続するために必要な保健衛生用品の整備等を行う。                      また、予算の執行にあたっては、学校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校規模に応じて予算配当を行う。</p> <p>内容：                      ・学校における感染症対策等支援                      学校教育活動の着実な継続のため、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品の購入等に係る経費を支援する。                      ・子供たちの学習保障支援                      児童生徒の学びの保障のため、感染症対策等を徹底しながら、感染の状況や児童生徒の状況に応じた学校での教育活動や家庭学習を実施する際に生じる経費を支援する。</p>	115,200	教育委員会 総務課

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
21	拡大	当初	<p>事業名：定期予防接種費                      全体事業費：R3 763,449千円 ⇒ R4 1,110,998千円（うち、拡大分 396,386千円）</p> <p>事業概要：                      伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種法の規定に基づき、定期の予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進を図る。</p> <p>R4事業内容：（拡大分）                      1. 子宮頸がん予防ワクチンの接種件数の増に伴う委託料の増                      ① 勧奨再開分 R3 12,924千円（800件） → R4 227,513千円（14,084件）                      （拡大分 214,589千円）                      ② 救済措置分 R3 -（-） → R4 181,797千円（11,254件）                      （拡大分 181,797千円）</p> <p>① 積極的勧奨の再開                      (1) 接種対象者 小学6年生から高校1年生相当までの女子 8,324人                      (2) 接種回数 3回                      (3) 接種料 1回あたり 16,154円（令和4年度委託単価見込み）                      (4) 接種見込み件数 14,084件 {8,324人（接種対象者）×3回-1,500件（接種済件数）} ×60%（接種見込み※）                      ※積極的勧奨差し控え前の長崎市の年間接種率</p> <p>② 積極的勧奨の差し控えによる未接種者への救済措置                      (1) 救済措置対象者 平成9年度から平成17年度生まれ（令和4年度に17歳～25歳となる）の女子 15,766人のうち未接種者                      (2) 接種期間 令和4年度から令和6年度まで（3年間）                      (3) 接種見込み件数 11,254件 {15,766人（接種対象者）×3回-4,399件（接種済件数）} ×78.7%（接種見込み※）÷3年間                      ※積極的勧奨差し控え前の国のデータに基づく対象者の推定接種率</p>	1,110,998	こども健康課
22	拡大	当初	<p>事業名：教育ICT推進費（小学校・中学校・高等学校）                      事業費：285,348千円                      （通常分 197,720千円 拡充分 87,628千円）</p> <p>事業概要：                      Society5.0時代を生きる子どもたちにふさわしい、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化され、創造性を育む学びを実現するための環境整備や支援等を行う。</p> <p>内容：                      1 学校現場でのICT利活用推進に向けた支援（拡充） 70,780千円（8名→12名）                      教員が効果的にICT環境をこれまで以上に活用できるよう、ICT機器の操作支援や機器トラブルに対する技術支援、授業内容への提案などを行う情報通信技術支援員（ICT支援員）等を増員して配置する。                      2 タブレット端末の適切な利用（拡充） 9,186千円                      家庭においても子どもたちが安心・安全にタブレット端末を利用できるように、不適切サイトへのアクセスを防止する「フィルタリングソフト」を導入する。                      3 通信環境の改善（拡充） 7,662千円                      タブレット端末などのICT機器を活用した新しい授業形態により、通信量が増加し、通信帯域が逼迫することが予想されるため、その対策として、各校からインターネットに直接接続する「ローカルブレイクアウト（LBO）」によるダイレクト・インターネット・アクセス環境を実現、加えて、通信回線を1Gbpsから10Gbpsに増強する。</p> <p>【参考】通常分の主な内容：                      ・校務用パソコンの更新 156台 26,228千円                      ・サーバ等の賃貸借 75,024千円                      ・ウイルス対策等ソフトウェア使用料 68,324千円                      ・授業目的公衆送信補償金 4,399千円</p> <p>財源：公立学校情報機器整備費補助金（補助率1/2）、教育基金、その他（高等学校使用料）</p>	285,348	教育委員会 教育研究所

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
23	拡大	当初	<p>事業名：要保護及び準要保護児童就学援助費（小）、要保護及び準要保護生徒就学援助費（中）                      事業費：518,470千円                      （通常分 507,704千円 拡充分 10,766千円）</p> <p>事業概要：                      経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し就学援助を行う。</p> <p>内容：                      準要保護世帯への支援（拡充）                      1 通信費の支援 7,238千円                      家庭にWi-Fi環境がない準要保護世帯に対し、市が所有するモバイルルータを無償貸与した場合、その通信費を支援する。                      ・支給単価 1人当たり 1,100円（初期費用）+770円×12月=10,340円                      ・対象者数 小学生 500人 中学生 200人                      2 新入学児童生徒学用品費の増額 3,528千円                      市町村が行う要保護者への援助に対する国の補助単価が増額されることに併せて、準要保護者の支給単価を増額する。                      ・増額される項目 新入学児童生徒学用品費 小学生 51,060円→54,060円                      財源：要保護児童生徒援助費補助金（補助率1/2）</p>	518,470	教育委員会 総務課
24	継続	当初	<p>事業名：【単独】中学校整備事業費 琴海中校舎等改築                      事業費：R3 14,100千円 ⇒ R4 53,300千円</p> <p>事業概要：                      琴海中学校は、最も古い校舎が昭和40年に建築され築57年が経過し、また耐力度調査の結果においても、一部校舎について建替えの対象となる指標を下回っているため、早期に校舎の改築を行うことで教育環境の改善を図る。</p> <p>事業期間： R3～R10                      R3 土質調査、登記測量、石綿含有調査                      R4～5 基本実施設計、学校敷地等測量設計                      R6～ 新校舎等建設                      R9～ 運動場整備</p> <p>事業内容：                      前払金相当（R4） 完成払相当（R5）                      ・基本実施設計 45,180千円 105,420千円（債務負担行為）                      ・学校敷地等測量設計 8,120千円 12,180千円（債務負担行為）</p> <p>財源：学校教育施設等整備事業債（充当率：75%）</p>	53,300	教育委員会 施設課
25	拡大	当初	<p>事業名：小学校管理費 運営費、中学校管理費 運営費                      事業費：R3 306,955千円 ⇒ R4 410,273千円                      （通常分 380,407千円 創造挑戦分 29,866千円）</p> <p>事業概要：学校運営に必要な消耗器材、備品、各種経費を支出する。</p> <p>創造挑戦内容：                      学校プール施設の老朽化に対応するため、水泳授業を民間等に委託することにより、学校プールの維持補修費及び将来的な建設費用の縮減とともに、教育環境の向上を図る。</p> <p>R3よりモデル事業を実施しており、事業の有効性については一定の成果が得られたが、本格実施に向けてモデル未実施のプール施設も含めて運用の実情を把握する必要があるため、令和4年度は対象施設を拡大し、引き続きモデル事業による検証を行うもの。</p> <p>【小】（R3実施分）：日吉小中 946千円、西山台小 1,515千円、西浦上小 1,756千円                      （R4拡大分）：福田小 4,392千円、朝日小 1,178千円、西町小 2,940千円                      三重小 3,490千円、女の都小 1,196千円、三原小 2,088千円                      計：19,501千円</p> <p>【中】（R3実施分）：大浦中 1,444千円                      （R4拡大分）：長崎中 2,869千円、丸尾中 1,652千円、茂木中 1,557千円                      横尾中 2,168千円、深堀中 675千円                      計：10,365千円</p>	410,273	教育委員会 施設課
26	新規	2月 補正	<p>事業名：【単独】小学校整備事業費 空調設備整備                      【補助】中学校整備事業費 空調設備整備</p> <p>事業費：R3 490,500千円（小学校：251,700千円 中学校：238,800千円）</p> <p>事業概要：                      市立小中学校の現在空調を設置していない特別教室のうち、使用頻度の高い特別教室に空調を設置する。</p> <p>R3事業内容：                      小学校 家庭科室（調理室）59教室                      中学校 家庭科室（調理室）34教室、美術室 36教室</p>	490,500	教育委員会 施設課

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
27	拡大	当初	<p>事業名：通学対策費                      事業費：R4 40,205千円                      （通常分 37,425千円 拡充分 2,780千円）</p> <p>事業概要：                      市立小中学校に遠距離通学をする児童生徒の保護者に通学費の補助を行う。（小学校2km以上、中学校3km以上）</p> <p>内容：                      スクール専用交通の導入（拡充） 2,780千円                      学校の統合に伴い、公共交通機関の利便性が低い地区から統合先の学校に遠距離通学をすることになり、かつ要件を満たす場合に、スクール専用交通を無料運行する。                      【対象地区】 大崎・千々地区（南中学校区、R4年4月1日に茂木中学校へ統合）                      【利用対象者】 茂木中学校に進学予定の南中学校区内に在住する生徒                      【運行形態】 タクシー事業者の車両を借上げて運行</p> <p>財源：へき地児童生徒援助費等補助金（補助率1/2、統廃合校が対象）</p>	40,205	教育委員会 適正配置 推進室
28	拡大	2月補正	<p>事業名：教育ICT推進費（小学校・中学校・高等学校）                      事業費：補正額 132,944千円</p> <p>事業概要：                      指導者用タブレットの整備、大型提示装置の更新、ネットワーク環境の整備を行い、対面とオンラインによるハイブリッド教育の推進を図る。</p> <p>事業内容：                      1 学校のICTを活用した高度化推進事業                      ・指導者用タブレットの整備（地方財政措置を超える分） 139台 6,255千円                      ・大型提示装置の更新 1,042台 106,827千円                      2 ネットワーク環境の整備                      ・少人数学級制度に伴い教室数が増加する小・中学校にアクセスポイントの増設、LANの敷設を行う。また、長崎商業高等学校の学習室や多目的教室などにインターネット環境を構築し、オンライン学習を充実する。7,182千円                      ・学校ネットワークの点検・応急対応の実施 12,680千円</p> <p>財源：公立学校情報機器整備費補助金（補助率1/2）                      新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金                      教育基金</p>	132,944	教育委員会 教育研究所
<b>2 生涯を通じて、意欲的に学び続けるひと</b>					
29	拡大	当初	<p>事業名：市立図書館運営費                      事業費：R3 550,465千円 ⇒ R4 611,587千円                      （通常分 391,624千円 拡大分 219,963千円）</p> <p>事業概要：                      市立図書館運営に必要な消耗品、備品、各種経費を支出する。</p> <p>拡大内容：                      図書館情報システムのサーバのOSサポート期限がR5.6月となっているためサーバの更新を行うが、新サーバのOSに対応した図書館情報システムへ改修を行う。                      ・システム改修委託 201,153千円                      ・機器賃貸借 6,858千円 ・保守委託 6,111千円 ・ネットワーク使用料 5,841千円（それぞれ3か月分）</p>	611,587	教育委員会 市立図書館
30	新規	当初	<p>事業名：【単独】科学館施設整備事業費 科学館設備整備                      事業費：R4 6,600千円（新規）</p> <p>事業内容：Wi-Fi環境整備                      財源：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（単独）</p>	6,600	教育委員会 生涯学習課
31	新規	1月補正	<p>事業名：科学館運営費                      事業費：R3補正 1,562千円（新規）</p> <p>事業概要：                      科学館での安全安心な学びの機会を提供するため、プラネタリウムを投影するスペースシアターに空気浄化システムを購入する。                      財源：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（単独）</p>	1,562	教育委員会 生涯学習課

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
32	拡大	当初	<p>事業名：社会体育行事開催費                      全体事業費：                      R3 8,280千円 ⇒ R4 30,276千円                      （通常分 8,876千円 拡大分 5,000千円 ※ベイスайдマラソン17,000千円の増あり）</p> <p>事業概要：                      これまで実施してきた各種スポーツイベントに加えて、小学生以下の子どもを対象にしたスポーツ体験教室を開催し、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくりを行う。                      事業費：5,000千円                      【内訳】委託料 3,800千円 会場借上料 1,200千円                      財源：一般財源 55.7%、その他（過疎基金繰入金、地域活性化支援事業助成金、新春駅伝参加費、各種大会保険料個人負担金、スポーツ振興くじ助成金） 44.3%</p>	30,276	スポーツ振興課
33	拡大	当初	<p>事業名：プロスポーツ応援事業費                      全体事業費：R3 9,000千円 ⇒ R4 15,000千円                      （通常分 9,000千円 拡大分 6,000千円）</p> <p>事業概要：                      スタジアムシティの開業を見据えたV・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカの応援機運醸成の取組みやプロ野球公式戦への市民招待を実施することで、スポーツへの関心を高め、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくりを行う。                      事業費：6,000千円                      【内訳】委託料6,000千円                      財源：一般財源 50%、国庫支出金（地方創生推進交付金） 50%</p>	15,000	スポーツ振興課
34	継続	当初	<p>事業名：【補助】新文化施設整備事業費 新文化施設建設                      事業費：R4 32,400千円</p> <p>事業期間：H30～                      H30～R1 基本構想策定                      R2～R4 基本計画策定（R4春完了予定）                      R4 測量、土質調査、管理運営計画等策定（R4～6）                      R5～ 基本設計・実施設計、埋蔵文化財記録保存調査、意図伝達、工事監理、建設工事</p> <p>事業概要：                      新たな文化施設の整備に向けて、令和元年7月に基本構想を策定し、現在、基本計画の策定を進めており、令和4年春に完了予定であることから、令和4年度は、建設予定地の測量及び土質調査を行うとともに、管理運営計画の策定等に着手する。                      R4事業内容：                      ・測量業務委託 3,500千円                      ・土質調査業務委託 26,520千円                      ・文化振興審議会の開催 1,915千円                      ・事務費（旅費、郵送料ほか） 465千円                      ・管理運営計画等策定委託 0千円 ※債務負担行為R4～R6 R6：27,170千円                      財源：国庫支出金（地方創生推進交付金 充当率50%） 46.3%、一般財源53.7%</p>	32,400	文化振興課
35	新規	当初	<p>事業名：芸術文化活動再開応援補助金                      事業費：R4 88,859千円（新規）</p> <p>事業概要：                      ・新型コロナの影響により、発表会やコンサート等の鑑賞型事業のほとんどが延期や中止せざるを得ない状況となり、中止等に伴う経済面での影響が活動再開の支障となっていることから、芸術文化活動の再開を支援するため、コロナ禍で特に影響を受け、再開の困難性が高い鑑賞型事業に対し、令和2年度にふるさと納税『新型コロナウイルス感染症の影響からの再開支援～長崎芸術文化応援プロジェクト！～』に寄せられた寄附金を積み立てた文化国際交流基金を活用して支援制度を創設する。                      対象者：新型コロナの影響で公演等を中止・延期したことに伴い公演会場をキャンセルした市内の文化団体や事業者等                      対象事業：令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に開催される芸術文化分野の鑑賞型事業                      補助金額：会場の施設使用料と同額（上限額50万円、附属設備使用料は対象外）                      財源：その他（文化国際交流基金繰入金）100%</p>	88,859	文化振興課
<p><b>3 多様性を認め合い、思いやりの心を持ち、支え合って生きるひと</b></p>					
36	拡大	当初	<p>事業名：男女共同参画推進センター運営費                      全体事業費：R3 35,247千円 ⇒ R4 36,675千円                      （通常分 35,594千円 拡大分 1,081千円）</p> <p>事業概要：                      男女共同参画推進センターの管理運営（平成28年度から指定管理者制度導入。令和3年度において指定管理者更新。）                      新規内容：                      男女共同参画推進センターにおいて、オンライン講座や動画配信などができるよう、新たにインターネット環境を整備するとともに、大型モニターによる情報発信を行う。                      事業費：1,081千円                      【内訳】                      ・インターネット工事一式 843千円、                      男女共同参画推進センター窓口用大型モニター等購入 238千円                      財源：一般財源100%</p>	36,675	人権男女共同参画室

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
<b>4 国際性豊かで、持続可能な世界の実現に貢献するひと</b>					
37	拡大	当初	<p>事業名：地球温暖化対策市民運動推進費 全体事業費 R3 14,666千円→R4 22,920千円 (通常分18,520千円 拡大分4,400千円)</p> <p>事業概要： 市民総参加による継続的な環境行動の実践に向けて「だれでも」「いつでも」「簡単に」取り組むことができる運動を展開しCO2の排出量削減に向けた市民運動の創出を図るもの</p> <p>拡大内容： ①脱炭素化に係る市民環境活動応援費【2,000千円】 ・環境行動の推進役である「サステナプラザながさき」を通じて、若者や環境活動を実施する団体の脱炭素推進活動を支援する。 ②公用電気自動車ラッピング【2,400千円】 ・電気自動車の普及啓発のため、現在保有の公用電気自動車へのラッピングを行いゼロカーボンの取組について啓発する。【200千円×12台】 ③市民環境行動推進業務委託【10,084千円】 ・市民の環境活動の拠点として、市民への普及・啓発を図るための長崎市地球温暖化防止推進センター運営費</p> <p>財源：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4,400千円 海岸漂着物等地域対策推進事業費補助金 7/10 (市民環境行動推進業務委託の一部が該当：730千円) ながさきエコライフ基金 11,708千円 長崎県市町村振興協会宝くじ市町交付金 6,081千円</p>	22,920	環境政策課
38	ゼロ予算		<p>事業名：エコまちプログラム 事業概要： 環境にやさしいまちづくりを目指した取り組みを進める。 R4年度の取り組みとして東部地区の様々な施設のゼロカーボンに向けた取り組みを子どもたちに知ってもらい、持続的な環境行動につなげる。 ・小中学校での出張学習会や施設見学会 水道・下水道、ごみ処理、農林水産、地産地消、EV（東長崎地域センター）の外部給電体験</p>	0	東総合事務所 地域福祉課
39	拡大	当初	<p>事業名：国際理解教育推進費 事業費：R4 210,031千円 (通常分 207,589千円 拡充分 2,442千円)</p> <p>事業概要： 小中9年間を見通して策定した「長崎市国際理解教育推進プラン」に基づき、国際化が進むこれからの時代にふさわしく、自ら進んで外国人と交流しようとする国際感覚豊かな子どもの育成を図る。</p> <p>内容： こども国際会議の開催（拡充） 2,442千円 長崎市と外国をオンラインで結び、長崎市立学校の小学生と外国の子どもで環境問題についての意見交換を行う。 開催日：R4.8月 開催場所：出島メッセ長崎 参加人数：68名（市内小学生各校から1名）</p>	210,031	教育委員会 学校教育課
<b>5 被爆の実相を継承し、平和の実現に貢献するひと</b>					
40	拡大	当初	<p>【PEACE100アクション】 事業名：保存整備活動費 事業費：R3 12,106千円 ⇒ R4 14,881千円 通常分 5,920千円 拡大分 8,961千円</p> <p>事業概要： 被爆資料や被爆建造物等の保存・活用を継続して行うもの。また、平和祈念式典にあわせた原爆写真パネルの展示や原爆被災の著しかった場所等に関する説明板を設置し、被爆の実相の継承に努める。</p> <p>拡大内容（事業費内訳）： ①令和2年度以降の収集強化により寄贈された被爆資料等を含め、原爆資料館収蔵資料のカルテ作成及び記録写真の資料整理等を行い、活用に向けた整備を図る。 (資料整理作業員(1名×8月)人件費 1,361千円) ②令和3年度に同じ小学校敷地内にある被爆建造物公開施設「旧城山国民学校校舎」内へ移設したクラスサンショウのレプリカを移設後の跡地に設置し、引き続き、平和学習等に活用できるように展示する。 (レプリカ制作設置業務委託料 6,600千円、レプリカ説明板製作設置業務委託料 1,000千円)</p> <p>財源：①一般財源 100% ②原爆死没者慰霊等国庫補助金（対象事業費(7,600千円)の2/3）、 クスノキ基金繰入金（対象事業費(6,600千円)の1/3）、一般財源 334千円</p>	14,881	被爆継承課

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
41	拡大	当初	<p>事業名：核兵器廃絶長崎連絡協議会負担金                      事業費：R3 5,000千円 ⇒ R4 5,800千円                      通常分 3,933千円 拡大分 1,867千円</p> <p>事業概要：                      「核兵器廃絶長崎連絡協議会（PCU-NC）」設立10周年の節目を迎えるため、従来からの取組みに加え、様々な記念行事を実施し、核兵器廃絶に向けた機運醸成を図る。</p> <p>R4事業内容 ※長崎市負担額（長崎大学・長崎県・長崎市負担各1/3）                      ・既存事業（啓発事業、育成事業等） 3,933千円                      ・10周年記念事業 1,867千円                      ①10周年企画特別市民セミナーの開催 1,153千円                      海外から著名有識者、国内から専門家を招き、特別市民セミナーを開催する。                      ②「ナガサキ・ユース・ネットワーク事業（NYN）」（仮称）事業 347千円                      核なき世界に向けて活動する若者をつなぐ「情報プラットフォーム」（ポータルサイト）を開設する。                      ③過去の活動記録をまとめた冊子の作成・製本等 367千円</p> <p>財源：一般財源 100%</p>	5,800	平和推進課
42	新規	当初	<p>【PEACE100アクション】                      事業名：「平和の文化」醸成事業費                      事業費：R3 0千円 ⇒ R4 2,685千円（一部平和推進活動費から移管）</p> <p>事業概要：                      スポーツや芸術など自分が興味のある分野を入口に、多くの人が身近なところから平和について、考え、行動し、日常の中に「平和の文化」を根付かせるための取組みを進める。</p> <p>R4事業内容：                      ①平和の文化キャンペーン事業 650千円                      「平和の文化キャンペーン」期間（秋頃）を設定し、関係機関、民間団体と連携しながら平和の文化の認知度を向上させる事業を集中して実施する。                      ②平和の文化祭 825千円                      平和の文化キャンペーン期間に、平和の新しい伝え方応援事業や平和の文化認定事業の作品等の展示や、平和をイメージした物品を販売する「平和のマルシェ」等を行う「平和の文化祭」を開催し、平和の文化にふれる機会を創出する。                      ③考えよう！「SDGs×平和」事業 195千円                      長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）の教員と環境活動を行う学生を講師に迎え、小学5・6年生を対象に、SDGsの中で一番身近なテーマである「環境」を入口に平和について考える講座を実施する。                      ④その他 1,015千円（平和コンサートにおける平和発信事業、平和の文化認定事業）</p> <p>財源：一般財源 100%</p>	2,685	平和推進課
6 長崎を愛する心を持ち、まちを支え、未来へつなぐひと					
43	拡大	当初	<p>事業名：長崎郷土芸能保存協議会補助金                      事業費：R4 11,981千円（通常分 6,631千円 拡大分 5,350千円）</p> <p>事業概要：                      市民をはじめ多くの人々に対して、地域で傳承されている伝統芸能に対する関心と理解を深めてもらうことを目的として毎年開催されている長崎郷土芸能大会の円滑な運営を図り、また、大会に出演する郷土芸能団体に対し、伝統芸能の保存・継承を図るための助成支援等の経費にかかる補助金を交付する。</p> <p>拡大内容：                      令和4年度の長崎郷土芸能大会は新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となることから、郷土芸能団体の参加機会の拡大を目的として、出演団体数を例年の5団体から、11団体に増やして実施する。                      また、現在、市の指定、未指定にかかわらず、存続が困難な保存団体が存在しており、活動自体が休止状態に近い保存団体が増加傾向にあることから、今後も地域の伝統文化である郷土芸能を保存継承するため、現行上、後継者育成活動に対する助成制度がない長崎郷土芸能保存協議会に加入する保存団体に対し、新たに後継者育成のための活動経費の補助制度を創設する。</p> <p>拡大額 5,350千円                      （内訳）大会出演団体補助金 3,750千円（5件）、謝礼金 600千円（1件）                      後継者育成費補助金 1,000千円（50千円×20件）</p> <p>財源：地方創生推進交付金50%（補助対象経費（大会開催経費）10,881千円）</p>	11,981	文化財課

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
44	継続	当初	<p>事業名：高校生チャレンジショップ事業 事業費：R3 443千円 ⇒ R4 719千円</p> <p>事業概要： 若者の企画やアイデアを実現につなげるための「チャレンジできる場」の仕組みをつくることで、若者に「選ばれるまち」を目指すため、高校生の企画、運営によるチャレンジショップを実施し、将来的な地元就職や創業について検討するきっかけをつくる。</p> <p>R4事業内容：「高校生チャレンジショップ」の実施 719千円 ・スケジュール 4月 企画・準備（講演及び事業説明） 5月～7月 1回目開催に向けての準備期間 8月 チャレンジショップ1回目実施及び振り返り 9月～11月 2回目開催に向けての準備期間 12月 チャレンジショップ2回目 1月 2回目の振り返り及び事業報告</p> <p>財源：地方創生推進交付金 対象経費（719千円）の1/2</p>	719	商工振興課
45	継続	当初	<p>事業名：長崎街道シュガーロード推進費 全体事業費：R3 3,305千円 ⇒ R4 2,107千円</p> <p>事業概要： 江戸時代に砂糖が運ばれた長崎街道シュガーロードの歴史・文化を掘り起こし、沿線8自治体で連携して観光客等への魅力発信を行う。</p> <p>R4事業内容： 1 シュガーロード連絡協議会関連事業費 1,366千円 沿線8自治体で組織するシュガーロード連絡協議会に係る経費を負担する。</p> <p>2 長崎街道シュガーロードPR費 741千円 長崎の砂糖文化及び全国へ広まっていた歴史を踏まえ、シュガーロードの魅力を市民及び観光客へPRすることで、認知度を高める。</p> <p>財源：地方創生推進交付金 対象経費（1,541千円）の1/2</p> <p>備考： 長崎市が事務局を担うシュガーロード連絡協議会において、地域文化財総合活用推進事業（日本遺産）21,500千円を予定。 【シュガーロード連絡協議会の事業】 ・人材育成 ガイドの育成事業 750千円 ・普及啓発 学校等と連携したシュガーロード講座 750千円 旅行商品の造成 3,000千円 ツーリズムEXPOJAPANへの出展 6,000千円 ウォーキングの開催 1,000千円 スイーツコンテストの開催 10,000千円</p>	2,107	商工振興課
46	拡大	当初	<p>事業名：地球温暖化対策市民運動推進費【再掲】 全体事業費 R3 14,666千円→R4 22,920千円 （通常分18,520千円 拡大分4,400千円）</p> <p>事業概要： 市民総参加による継続的な環境行動の実践に向けて「だれでも」「いつでも」「簡単に」取り組むことができる運動を展開しCO2の排出量削減に向けた市民運動の創出を図るもの</p> <p>拡大内容： ①脱炭素化に係る市民環境活動応援費【2,000千円】 ・環境行動の推進役である「サステナプラザながさき」を通じて、若者や環境活動を実施する団体の脱炭素推進活動を支援する。 ②公用電気自動車ラッピング【2,400千円】 ・電気自動車の普及啓発のため、現在保有の公用電気自動車へのラッピングを行いゼロカーボンの取組について啓発する。【200千円×12台】 ③市民環境行動推進業務委託【10,084千円】 ・市民の環境活動の拠点として、市民への普及・啓発を図るための長崎市地球温暖化防止推進センター運営費</p> <p>財源：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4,400千円 海岸漂着物等地域対策推進事業費補助金 7/10 （市民環境行動推進業務委託の一部が該当：730千円） ながさきエコライフ基金 11,708千円 長崎県市町村振興協会宝くじ市町交付金 6,081千円</p>	22,920	環境政策課

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
47	ゼロ予算		<p>事業名：エコまちプログラム【再掲】</p> <p>事業概要： 環境にやさしいまちづくりを目指した取り組みを進める。 R4年度の取り組みとして東部地区の様々な施設のゼロカーボンに向けた取り組みを子どもたちに知ってもらい、持続的な環境行動につなげる。 ・小中学校での出張学習会や施設見学会 水道・下水道、ごみ処理、農林水産、地産地消、EV（東長崎地域センター）の外部給電体験</p>	0	東総合事務所 地域福祉課
48	拡大	当初	<p>事業名：消防活動支援費 市民防火組織等活動推進費</p> <p>全体事業費： R3 10,120千円 ⇒ R4 11,947千円 （通常分 9,947千円 拡大分 2,000千円）</p> <p>事業概要： 地域ぐるみで防火防災意識を高めるため、市民防火組織の活性化と結成を促進するもの。</p> <p>拡大内容： 地域の防火防災の担い手の育成 ・少年消防クラブ員を対象に自分たちが住んでいる地域の消防や防災に関係する場所を、これまで各部局が作成した地図を活用して、まちあるきを実施する。 ・まちあるきに、消防団や消防団協力事業所等に協力してもらい、地域の中で顔が見える関係を構築する。 ・まちあるきの様子を動画配信し、視聴者の防火防災意識の高揚と併せて、活動を紹介することにより新規結成を図る。</p> <p>・参加者への啓発用品等購入 1,140千円 ・ライブ配信、動画編集委託 860千円</p>	11,947	消防局 予防課
49	拡大	当初	<p>事業名：安全・安心まちづくり推進費</p> <p>全体事業費：R3 4,814千円 ⇒ R4 5,401千円 （通常分 4,928千円 拡大分 473千円）</p> <p>事業概要： 地域における犯罪の防止・抑止を推進するため、新たな担い手として、地域でランニングやウォーキング等を行っている市民による「ながら防犯」を県警と連携して実施する。 事業費：473千円 【内訳】需用費473千円 財源：一般財源 99.8%、その他 0.2%</p>	5,401	自治振興課
50	拡大	1月 補正	<p>事業名：常備消防活動費 救急業務費</p> <p>全体事業費： R3 23,002千円 ⇒ R3 23,878千円 （補正額 876千円）</p> <p>事業概要： 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けることなく、応急手当講習実施方法の拡大を図る。</p> <p>拡大内容： コロナ禍における応急手当講習 ・現在実施している中学生を対象としたスクール救命サポーター育成事業において、これまで複数人で使用していた心肺蘇生トレーニングキットを1人につき1つ準備するとともに、3密を避けるため、学校教育で使用されているオンライン会議システムを活用して、複数の教室で分散開催できるようにする。 ・心肺蘇生トレーニングキットは容易に持ち運びができることから、新たに一般市民への貸し出しも開始し、職場や自宅に居ながらオンラインで応急手当講習を受講できるようにする。</p> <p>・心肺蘇生トレーニングキット購入 876千円 （1学年の最大生徒数300人に対し、心肺蘇生トレーニングキットを1人につき1個準備するため、現在所有している心肺蘇生トレーニングキット100個に追加して200個を購入し、警防課へ配備する。）</p>	876	消防局 警防課
51	継続	当初	<p>事業名：キャリア教育推進事業費</p> <p>事業費：R4 19,132千円</p> <p>事業概要： 児童生徒が、大人との出会いや交流体験、職業体験などの活動を通して、自らの生き方や将来について考えを深め、社会的、職業的に自立し、社会の中で自分らしい生き方を実現させようという心情を育成する。</p> <p>事業内容： ・日吉自然の家を利用した宿泊体験学習の実施（市立小学校の5年生） ・「長崎の宝」発見・発信学習の実施 ・弁護士による「法教育」、まちづくりアイデアコンテスト、生徒会リーダー研修の実施</p> <p>財源：教育基金、伝習所基金</p>	19,132	教育委員会 学校教育課

No.	予算区分	計上時期	具体的取組み（事業名及び内容）	予算額（千円）	担当課
52	拡大	当初	<p>事業名：游学都市・ながさき推進費                      【拡大】「（仮称）游学のまち長崎リレー講座」の実施                      事業費：256千円                      事業概要：                      長崎のまちを舞台に最先端で活躍する人材を講師として招致し、学生等が無料で視聴できるオンライン講座をリレー形式で実施することで、若者たちの学びの機会の創出とシビックプライドの醸成を図り、長崎地域の大学への進学や卒業後の長崎への定住の促進につなげる。                      ・実施主体 「游学のまち長崎」推進協議会                      ・受講対象者 長崎地域7大学の学生をはじめとした若者                      ・開催方法 オンライン開催（年4回程度）                      ・事業期間 令和4年度～</p>	256	都市経営室
53	継続	当初	<p>事業名：地域活性化事業費                      事業費：R4 20,000千円（※総合事務所全体）                      （うち 東総合事務所分 5,000千円）                      事業概要：総合事務所ごとに地域の活性化や一体感の醸成につながる事業に取り組む。                      R4事業内容：                      ①桜の魅力を活かしたまちづくり 2,000千円                      目的：                      東部地区の中心を流れる八郎川をメインに桜の魅力を高めることで賑わいのあるまちづくりを目指す。                      ・八郎川周辺の桜並木のライトアップ、子どもたちによる手作りイルミネーションの設置                      ・弱虫ペダルデザインマンホールや名所、お店等のスポットを巡るデジタルスタンプラリーの実施                      ・桜のまち歩きマップの作成                      ・八郎川クリーン作戦（自治会、地域団体、企業、行政との協働による八郎川周辺の美化活動）の実施                      ②郷土の伝統文化を活かしたまちづくり 2,000千円                      目的：                      東部地区の歴史や伝統文化に親しむ機会を拡大することで、伝統文化の継承や担い手づくりにつなげる。                      ・地域の伝統文化に子どもたちや若い世代が触れるきっかけとなる取り組みを実施                      （興味関心を引く映像の作成と活用、衣装・道具の展示、子どもたちと一緒に道具の手入れや修理など）                      ・東部地区の過去の風景、生活の様式、祭事などを収めた写真や映像をデジタル化して活用                      ・フォトコンテストやこども絵画コンクールの開催                      ・伝統文化の魅力を伝えるマップや冊子の作成                      ③長崎東部地区夏まつり花火大会 1,000千円                      目的：長崎東部地区夏まつり花火大会において、より楽しめるイベントになるよう支援する。                      財源：地域振興基金繰入金 100%</p>	5,000	東総合事務所 地域福祉課
54	新規	当初	<p>事業名：市民提案型協働事業実施費（矢上普賢岳魅力向上事業）                      事業費：R4 990千円（新規）                      事業概要：                      地域住民とともに樹木剪定等により地域資源を再生し、地域の魅力向上に取り組むことで郷土愛を育み、地域が一体となったまちづくりの機運の醸成につなげる。                      ① 視点場再生事業 山頂付近の視点場における樹木の剪定                      ② 伝承事業                      ・入山促進イベントの実施                      ●デジタルスタンプラリー（令和5年4月実施予定のため令和4年度は準備）                      ●山頂付近のライトアップ                      ・桜の植樹                      ・紹介マップ及び紙芝居の制作（子どもたちの興味関心を高めるような普賢岳が飛び出す仕掛けのマップや、今回の協働の取組みをストーリー化した紙芝居の制作）                      ③ 広報                      ・地域センターだより、ふれあいセンターだより、自治会回覧、広報ながさき、市ホームページ等による情報発信                      財源：長崎伝習所基金繰入金 100%</p>	990	東総合事務所 地域福祉課